



資料1

令和6年度 第2回
県在宅医療推進協議会 及び 県地域包括ケア会議
(医療企画課分)

目次：

○ 報告事項

(1) 在宅医療データ分析事業の実施状況	…	資料2
(2) 入退院調整窓口一覧の調査報告	…	2頁
(3) 在宅医療において積極的役割を担う医療機関の追加推薦依頼について	…	5頁
(4) 令和6年度新規の在宅医療補助事業の実施状況	…	13頁
(5) 各部会(訪問看護部会、リハ部会)の検討状況	…	20頁
(6) 在宅医療トレーニングセンター研修事業の実施状況	…	24頁

○ 報告事項

(2) 入退院調整窓口一覧の調査報告

報告(2)-1 調査概要及び結果

報告(2)-2 入退院調整窓口一覧の周知について

報告(2)-1 調査概要及び結果

- 令和6年11月26日に県内の318病院あてに時点修正の有無について調査を実施
※調査期間：令和6年11月26日(火)～12月11日(水)
- なお、前年度までの調査では担当者のメールアドレスあてにExcelファイルを送付・メール返信いただく形で実施していたが、回答の手間を考慮し今年度からはkintone(キントーン)を活用し、webフォームから回答いただく形式に変更
- 全ての病院から回答いただき、参考資料1「入退院調整窓口一覧(令和6年12月版)」のとおり作成し、例年同様、「介護情報サービスかながわ」に掲載予定

報告(2)-2 入退院調整窓口一覧の周知について

- 入退院調整窓口一覧は、入退院調整における医療と介護の連携に資することを目的に作成していることから、医療・介護の関係団体である構成員の皆様に周知へのご協力いただきますようお願いいたします。
- なお、周知にあたっては、県民向けに作成したものではないため、入退院調整と関係がない事項に関する問合せが発生しないよう、団体の皆様が管理しているホームページの会員向けページにおいて周知する等、ご配慮いただきますようお願いいたします。

○ 報告事項

(3) 「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」の追加推薦依頼について

報告(3)-1 前回会議の振り返り

報告(3)-2 追加推薦依頼の実施について

報告(3)-3 在宅医療補助事業における優遇措置について

報告(3)-1 前回会議の振り返り①

- 令和5年3月31日付けで、国から新たな「在宅医療の体制構築に係る指針」が示され、「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」について、第8次県保健医療計画から「計画に位置付けること」とされた。
- 各郡市医師会から対象となる医療機関を推薦いただき、令和6年7月26日に開催された前回会議において、推薦のあった**116の医療機関を計画に位置付けることについて承認いただいた。**
- しかし、**川崎北部地域において、計画に位置付けられた医療機関がない状況**であるため、引き続き推薦・認定に向けた調整を実施する旨を報告した。
※二次医療圏ごとの医療機関数については次項に掲載（前回会議資料）

報告(3)-1 前回会議の振り返り②

【参考】令和6年7月26日開催
第1回神奈川県在宅医療推進協議会資料

二次医療圏	在支診（A）			在支病（B）			在支診・病 以外の 医療機関 （C）	計 （A+B+C）
	機能強化型		その他	機能強化型		その他		
	単独型	連携型		単独型	連携型			
横浜	7/7	45/150	8/222	1/3	7/20	4/19	1/α	73/421+α
川崎北部	0/2	0/35	0/33	0/0	0/2	0/1	0/α	0/73+α
川崎南部	0/3	1/26	0/39	0/0	0/2	0/1	0/α	1/71+α
相模原	0/1	1/21	1/28	0/0	1/4	0/2	0/α	3/56+α
横須賀・三浦	3/3	9/30	1/60	0/0	2/3	0/7	1/α	16/103α
湘南東部	1/2	4/37	0/58	1/2	3/7	0/1	0/α	9/107α
湘南西部	0/1	6/18	1/50	0/0	0/0	0/3	1/α	8/72+α
県央	0/1	3/21	1/41	0/1	0/4	0/3	0/α	4/71+α
県西	1/2	0/14	0/30	0/0	0/3	0/1	1/α	2/50+α
計	12/22	69/352	12/561	2/6	13/45	5/38	3/α	116/1,024+α

報告(3)-2 追加推薦依頼の実施について

- 追加の推薦依頼についても前回同様、県医師会にご協力いただきながら、川崎市医師会から対象となる医療機関(川崎北部)を推薦いただくよう依頼したい。

併せて…



- 前回会議においても今後の課題として挙げたが、「在宅医療において積極的な役割を担う医療機関」を位置付けるにあたり、現状、国指針が求めている事項に沿った診療等を実施する際に要するイニシャルコスト（人件費、設備費等）等への**医療機関側へのインセンティブ（診療報酬上の評価評等）となる要素がない。**

そこで…



令和7年度の在宅補助事業において、何らかの優遇措置を設けたらどうか。

報告(3)-3 在宅医療補助事業における優遇措置について①

- 今年度から引き続き、**令和7年度においても以下の2種類の補助制度を実施**
 - ・ **在宅医療提供体制整備事業費補助**（医療機器及びI C T機器の導入費）
 - ・ **在宅医療退院支援強化事業費補助**（事務作業補助者の雇用に係る費用及び人件費）
- 令和7年度からの変更点として、在宅医療提供体制整備事業費補助における在宅医療の提供に必要となる医療機器の導入について、**補助対象外としていた既に在宅医療に取り組んでいる医療機関も、補助の対象となるよう拡充を行う。**
- なお、診療内容の拡充かつ患者受け入れ増につながる機器の導入に対してのみ補助を行い、単なる機器の更新は対象外とする。

報告(3)-3 在宅医療補助事業における優遇措置について②

事業内容 新たに在宅医療に参画する、若しくは、在宅患者の一層の受入強化に取り組む医療機関が必要とする医療機器の整備に対して補助

事業のイメージ

R7から拡充

(1) 新たに在宅医療に取り組む医療機関

在宅医療を始めるために必要な機器及びオンライン診療のために必要な機器に補助します。



(2) 既に在宅医療に取り組んでいる医療機関（単独型）

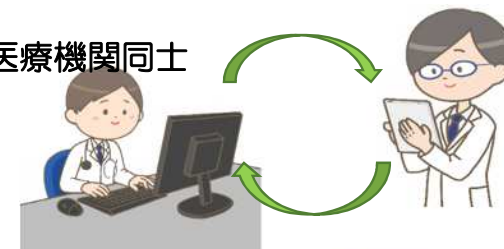
オンライン診療のために必要な機器に補助します。



(3) 既に在宅医療に取り組んでいる医療機関（多職種連携型）

オンライン診療のために必要な機器に補助します。

例1：医療機関同士



例2：医療機関と訪問看護ST



※1 単独型とは、単独で患者の受入件数の増加を計画する医療機関

※2 多職種連携型とは、複数の医療機関や訪問看護ステーション、訪問薬局等と連携し、多職種で在宅患者の訪問・見守りを計画する医療機関

報告(3)-3 在宅医療補助事業における優遇措置について③

補助対象機器

既に在宅医療に取り組んでいる医療機関も申請可能に(赤枠内)

(ア) 在宅医療の提供に必要となる医療機器

- ① X線撮影装置(往診・訪問診療用)
- ② 超音波診断装置(バッテリー駆動可能な製品)
- ③ 解析付心電計
- ④ ポータブル内視鏡
- ⑤ 簡易睡眠時無呼吸検査装置
- ⑥ 血液・尿検査装置(往診・訪問診療用)
- ⑦ 肺機能検査装置(持ち運び可能な製品)
- ⑧ パルスオキシメーター
- ⑨ ネブライザー・吸引器
- ⑩ 輸液ポンプ・シリンジポンプ
- ⑪ 膀胱用超音波画像診断装置
- ⑫ 小型卓上高圧蒸気滅菌器
- ⑬ 血圧計(持ち運び可能な製品もしくは卓上型)
- ⑭ 眼底・眼圧計(持ち運び可能なハンディタイプ)
- ⑮ 生体情報モニタ(ベッドサイドモニタータイプ)
- ⑯ 経腸栄養用輸液ポンプ
- ⑰ 在宅身体機能関連機器

(イ) オンライン診療に活用する情報通信機器

- ① パソコン・タブレット・カメラ・マイク・ヘッドセット・ルーターなど
- ② 見守り用機器
- ③ 上記①、②の導入に伴い必要となるアプリ、システムの導入費

報告(3)-3 在宅医療補助事業における優遇措置について④

- 審査は以下の点を踏まえながら行うが、既に在宅医療に取り組んでいる医療機関も補助対象としている。
- 仮に予算額を超過する多数の申請があった場合、
「積極的役割を担う医療機関」からの申請を優先して採択することとしたい。

(審査のポイント)

- ①機器導入によって得られる効果を明確かつ定量的に示しているか。
- ②医療機関の事業規模を考慮した上で、在宅患者の受入数をどの程度増やせるか。
- ③採択される医療機関の所在地について、一定地域への偏りがないか。



○ 報告事項

(4) 令和6年度新規の在宅医療補助の実施状況

報告(4)-1 募集概要・申請状況(在宅医療提供体制整備)

報告(4)-2 募集概要・申請状況(退院支援強化)

報告(4)-3 令和7年度の募集に向けて

報告(4)-1 募集概要・申請状況(在宅医療提供体制整備)①

(1)新たに在宅医療に取り組む医療機関向け	(2)既に在宅医療に取り組んでいる医療機関向け
【補助対象】 ● 新たに在宅医療（往診・訪問診療）に取り組む医療機関	【補助対象】 ● 既に在宅医療に取り組んでいる医療機関のうち、情報通信機器を活用して次のいずれかに該当する取組みを行う医療機関 ➤ 単独で、患者の受入件数の増加を計画する医療機関 (単独型：ア) ➤ 複数の医療機関や訪問看護ステーション等と連携し、多職種で在宅医療の提供を計画する医療機関 (多職種連携型：イ)
【対象機器】 ● 在宅医療の提供に必要となる医療機器（ア） 及び オンライン診療等に活用する情報通信機器（イ）	【対象機器】 ● オンライン診療等に活用する情報通信機器（イ）
【補助単価】 2,250千円×10施設 【予算額】 22,500千円 【補助率】 3／4	【補助単価】 ア：300千円×52施設、イ：3,750千円×2施設 【予算額】 ア：15,600千円 イ：7,500千円 【補助率】 いずれも、3／4

※補助金イメージはスライド10,11を参照

報告(4)-1 募集概要・申請状況(在宅医療提供体制整備)②

申請種別	予算額	実績見込	差引
新規参入	22,500千円 (2,250千円×10件)	1,348千円 1件 (所在地：平塚) ※診療所	21,152千円 9件
オンライン診療	15,600千円 (300千円×52件)	434千円 2件 (所在地：川崎、厚木) ※診療所	15,166千円 50件
多職種連携	7,500千円 (3,750千円×2件)	11,935千円 9件 【内訳】 ・病院 1件 (所在地：厚木) ・診療所 4件 (所在地：横浜、川崎、藤沢、厚木) ・訪看 3件 (所在地：横浜、川崎、藤沢) ・薬局 1件 (所在地：横浜)	△4,435千円 △7件
合計	45,600千円	13,717千円	31,883千円

- (取組例)・超音波診断装置、解析付心電計、血圧計、パルスオキシメーターの導入（新規参入）
・在宅患者の様子を写真で記録・即時共有するためのタブレットの購入（多職種連携）

報告(4)-2 募集概要・申請状況(退院支援強化)①

(1)医師事務作業補助者の募集・雇用に係る経費	(2)雇用後の研修期間の人件費相当額
【補助対象】 ● 退院時共同指導に新たに取り組む、または、拡充の計画を示している診療所・訪問看護ステーション	
【対象経費】 ● 医師事務作業補助者の募集・雇用に係る経費	【対象経費】 ● 雇用後の研修期間として最大3ヶ月の人件費相当額
【補助単価】 636千円×32施設 【予算額】 20,352千円 【補助率】 3／4	【補助単価】 684千円（3ヶ月）×32施設 【予算額】 21,888千円 【補助率】 3／4

報告(4)-2 募集概要・申請状況(退院支援強化)②

事業内容 診療所等が退院支援に積極的に取り組むにあたり必要となる、事務員の人件費等に対して補助

事業のイメージ

(1) 医師事務作業補助者の募集・雇用に係る経費



紙媒体（求人情報誌、新聞の求人広告欄等）や求人サイトで募集をする際に必要な費用について補助します。

(2) 雇用後の研修期間として人件費相当額（最大3か月）



カルテなどの入力代行、医療関連文書の作成代行、診療関連のデータ管理・整理などの業務内容を体得する期間の人件費相当額について補助します。

報告(4)-2 募集概要・申請状況(退院支援強化)③

申請種別	予算額	実績見込	差引
募集・雇用に係る経費	20,352千円 (636千円×32件)	2,609千円 7件 【内訳】 ・診療所 4件 (川崎 2件、大和、寒川) ・訪看 3件 (藤沢 2件、厚木)	17,743千円 25件
人件費相当額 (最大3か月)	21,888千円 (684千円×32件)	8,632千円 13件 【内訳】 ・診療所 9件 (横浜、川崎 4件、横須賀、藤沢、大和、寒川) ・訪看 4件 (藤沢 2件、厚木、横須賀)	13,256千円 19件
合計	42,240千円	11,241千円	30,999千円

報告(4)-3 令和7年度の募集に向けて

- 令和6年度から新たに2種類の在宅医療に係る補助金の募集を行ったが、いずれも想定と比較して申請件数が少なかった。
- 補助金制度の詳細に関する検討に時間を要し、周知及び募集期間を十分に確保することができなかったことが要因と考える。そこで令和7年度においては、年度当初から周知・募集を開始する等、改善を図っていきたい。

(参考)

申請受付期間 : 在宅医療提供体制整備費補助
令和6年9月20日～令和6年11月29日(金)
在宅医療退院支援強化事業費補助
令和6年9月20日～令和6年10月31日(木) ※
※その後、11月29日まで受付期間延長



報告事項

(5) 各部会(訪問看護部会、リハ部会)の検討状況

報告(5)-1	令和6年度	訪問看護部会	結果概要及び開催見込
報告(5)-2	令和6年度	リハ部会	結果概要及び開催見込

報告(5)-1 令和6年度 訪問看護部会 結果概要及び予定

開催日	協議事項	報告事項
第1回 7月23日	○第8次保健医療計画に係る訪問看護ステーション管理者研修の拡充について	○令和5年度訪問看護推進支援事業について ○令和6年度訪問看護推進支援事業について ○令和4年度看護職員就業実態調査結果報告(訪問看護ステーション)
第2回 10月28日	○訪問看護ステーション管理者研修に係るニーズ調査について	○令和5年度看護職員就業実態調査(訪問看護ステーション) 結果(速報)

【訪問看護ステーション管理者研修に係るニーズ調査実施】
期間:11月21日～12月20日

報告(5)-1 令和6年度 訪問看護部会 結果概要及び予定

日時	令和7年2月14日（金）14時00分～16時00分
方法	オンライン（ZOOM）
議題	○訪問看護ステーション管理者研修の拡充について ○令和7年度在宅看護に係る事業計画案
報告事項	○令和5年度看護職員就業実態調査(訪問看護ステーション)結果 概要

【今後のスケジュール予定】

R7.7月頃 令和7年度第1回訪問看護部会

報告(5)-2 令和6年度 リハ部会

結果概要及び予定

開催日	協議事項	報告事項
第1回 8月26日 (わらい)	- 第8次神奈川県保健医療計画における「地域リハビリテーション」の計画について - 令和5年度病院等への調査結果を踏まえたヒアリングの実施について	- 令和5年度リハビリテーション委託事業の実績報告について - 足柄上地域における地域リハビリテーション活動の取組について - 在宅医療推進協議会リハビリテーション部会設置要綱改正について
第2回 2月下旬 (開催予定)	- 地域リハビリテーションに関する病院等へのヒアリング結果 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施における市町村伴走支援の方向性	- 足柄上地域における地域リハビリテーション活動の取組について - リハビリテーション従事者向けの研修の実施結果 - 本事業の令和7年度予算措置状況

○ 報告事項

(6) 在宅医療トレーニングセンター研修事業の実施状況

報告(6)- 1 令和 6 年度の実施状況について

報告(6)-1 令和6年度の実施状況について①

令和6年度在宅医療トレーニングセンター研修会職種別延べ受講者数

	D r	歯 科 医 師	N S	P T	O T	S T	ケ ア マ ネ	薬 剤 師	栄 養 士	歯 科 衛 生 士	介 護 福 祉 士	介 護 職	社 会 福 祉 士	M S W	福 祉 用 具	そ の 他	合 計	研 修 回 数
第1四半期 (4月～6月)	15	5	385	11	5	0	518	221	43	3	157	77	75	4	20	64	1,603	30
第2四半期 (7月～9月)	100	10	888	25	14	2	714	435	99	55	156	57	135	14	25	130	2,859	51
第3四半期 (10月～12月)	46	29	574	19	11	8	455	315	46	27	131	60	107	8	0	110	1,946	45
第4四半期 (1月～3月)																		
合 計	161	44	1,847	55	30	10	1,687	971	188	85	444	194	317	26	45	304	6,408	126
%	2.5%	0.7%	28.8%	0.9%	0.5%	0.2%	26.3%	15.2%	2.9%	1.3%	6.9%	3.0%	4.9%	0.4%	0.7%	4.7%	100.0%	

●年間研修会回数と参加者数の達成状況

	計画	実績	達成率
研修会開催数	100	126	126%
参加者数	3,910	6,408	164%

●四半期内訳（回数、人数）

	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	合計
研修会開催数	30	51	45		126
参加者数	1,603	2,859	1,946		6,408

●研修会開催形式

開催形式	回数	%
Web	60 回	47.6%
集合・講義	14 回	11.1%
集合・実技	19 回	15.1%
ハイブリッド	4 回	3.2%
再配信	28 回	22.2%
配信限定	1 回	0.8%
合 計	126 回	100.0%

報告(6)-1 令和6年度の実施状況について②

43	認知症症状を軽減するコミュニケーション:高齢者と専門職の関係性を読み解く	1 高齢化率について 2 認知症のタイプ 3 薬物療法 4 認知機能が低下すると嫌がきいてもらえない 5 服従という不同意メッセージ 6 事前質問、質問への回答(30分)	D	歯科医師	N	P	O	S	ケアマネ	薬剤師	栄養士	歯科衛生士	介護福祉士	介護職	社会福祉士	MSW	福祉用具	その他	合計
	2024年 7 月 26 日		1	0	31	1	1	0	55	23	3	0	20	10	7	0	1	5	158
	会場 トレーニングセンターオンライン																		
	共催																		
44	CVポートの管理と看護(講義)	<講義> 1. CVポートの基礎知識 2. CVポートの穿刺時の看護 3. CVポート投与中の看護 4. CVポートの抜針時の看護 5. CVポート挿入中の患者・家族指導 質疑・応答	D	歯科医師	N	P	O	S	ケアマネ	薬剤師	栄養士	歯科衛生士	介護福祉士	介護職	社会福祉士	MSW	福祉用具	その他	合計
	2024年 7 月 30 日		1	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	会場 トレーニングセンター 医療実習室																		
	共催																		
45	CVポートの管理と看護(実技)	<実習> 1. CVポートの穿刺・抜針の演習 2. 質疑・応答 アンケート記入	D	歯科医師	N	P	O	S	ケアマネ	薬剤師	栄養士	歯科衛生士	介護福祉士	介護職	社会福祉士	MSW	福祉用具	その他	合計
	2024年 7 月 30 日		1	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	会場 トレーニングセンター 医療実習室																		
	共催																		

報告(6)-1 令和6年度の実施状況について③

神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター研修会 「多職種による在宅医療入門研修～在宅医療を始めてみよう～」＜Webセミナー＞

日 時：令和6年10月9日（水）18時30分～21時00分

形 式：ZoomによるWeb開催

【次 第】

18:30	○開 会	司会：神奈川県医師会理事／小磯診療所院長 磯崎 哲男	19:45	④ 薬剤師の立場から 「薬剤師の在宅訪問について」 神奈川県薬剤師会 医療・介護保険委員会委員 吉田 匡志
	○基調講演（20分）			
18:35	「第8次神奈川県保健医療計画における在宅医療について」 神奈川県健康医療局保健医療部医療企画課課長 市川 良成		20:00	⑤ 歯科医師の立場から 「訪問歯科医療の始め方」 神奈川県歯科医師会 地域保健委員会委員 石川 博之
	○シンポジウム（①～⑥各15分）			
18:55	① 訪問リハビリの立場から 「地域を支える訪問リハビリの始め方」 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会委員 清水 宗平		20:15	⑥ 在宅医の立場から 「在宅医療の始め方」 神奈川県医師会理事／小磯診療所院長 磯崎 哲男
19:10	② 介護支援専門員の立場から 「在宅医療におけるケアマネージャーの役割」 神奈川県介護支援専門員協会 多職種連携研修部会員医療介護連携担当 水嶋 千佳		－（休憩5分）－	
			20:35	○質疑応答（20分）
19:25	③ 訪問看護の立場から 「訪問看護のすすめ 始めよう訪問看護！」 神奈川県訪問看護ステーション協議会会長 鈴木 多加子		20:55	○総 括（5分） 神奈川県医師会理事／小磯診療所院長 磯崎 哲男
	－（休憩5分）－		21:00	○閉 会

報告(6)-1 令和6年度の実施状況について④

神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター

令和6年度入退院支援に関する研修会

テーマ：「身寄りのない方を地域で支えるには

～医療・ケアチームでできることを考えよう～」

日 時 令和7年3月1日(土) 15時00分～17時30分

会 場 T K P ガーデンシティPREMIUM横浜西口

<第1部>

- 1 開 会
- 2 講 演 (60分) 15:05～16:05 [8階8F会場]

司 会 神奈川県医師会 理事 磯崎 哲男

「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への

支援に関するガイドライン及び事例集について』

健康科学大学看護学部看護学科 講師 山崎 さやか

<グループディスカッション会場へ移動・休憩>

<第2部>

- 3 検 討 (60分) 16:15～17:15 [8階8E会場]
(1) グループディスカッション (6名×9グループ)

司 会 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会 福田 美香

テーマ「講演を聞いて普段現場で思うこと、考えること、困っていること」について

- (2) 成果発表 (10分) 17:15～17:25
2～3グループ程度から

- 4 総 括 (5分) 17:25～17:30

- 5 閉 会

報告(6)-1 令和6年度の実施状況について⑤

LINEの次はInstagramはじめました

研修会の開催案内等の情報を発信しています。友だち登録または、フォローをよろしくお願いします。



LINE



Instagram

https://www.instagram.com/kana_medical_kensyu

神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター

全ての研修会が受講料無料です



研修のお知らせです🌸

1月9日(木) 13:00~14:30「やさしさを伝えるケア技術 ユマニチュード®」を開催いたします🐰

6月にも開催し、とっても好評をいただいていた、ケア技術に関する研修会です。

ユマニチュードを学んでみたいというきっかけにしていきたい研修会です😊

ぜひご参加ください💡

10:00

オンライン研修 やさしさを伝えるケア技術 ユマニチュード®

1月9日(木) 13:00~14:30

ユマニチュードってなんでしょう??

どんな時に使える技法なのでしょう??

ユマニチュード学会認定の講師によるオンライン研修ですが、デモンストレーションがあるので理解しやすい講義です♡

いつも多くの方に参加して頂いております。

※この研修は6月14日に実施した研修と同じ内容となっております。

是非ご参加下さい!

在宅医療
トレーニングセン



kana_medical.kensyu

...

1月の再配信 ~其の1~

1月10日(金) 10:00~

1月15日(水) 23:59

「地域における医療的ケア児支援について」

「医療的ケア児に対する在宅医療の現場」

上記2つをいつもよりちょっと長めの期間で
オンデマンド再配信いたします!
ぜひ合わせてご覧ください



いいね! 5件

kana_medical.kensyu 1月10日(金) ~医療的ケア児についての
研修を2本再配信いたします☆

いつもより長めに視聴期間を設定しておりますので、
ぜひぜひご覧ください😊

研修のお申込みは神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター
HPから

<https://www.zaitaku-toresen.jp/>

29